

1 事業の目的

先住民族であるアイヌ民族に対する市民の理解を促進し、アイヌ民族の誇りが尊重されるまちを実現するため、アイヌ民族を象徴するモニュメントを、市街地の適切な場所に設置する。

2 事業の位置づけ

(1) 第3次新まちづくり計画(H23～26年)

政策目標5 市民が創る自治と文化の街

・重点課題1 市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり

・5-1-3 平和への願いとともに多文化共生を推進するまちづくり

設置時期:平成25年度

(2) 札幌市アイヌ施策推進計画(H22年9月策定)

アイヌ民族の伝統文化の保存・継承・振興などを図るとともに、アイヌ民族の歴史・文化・自然観などへの市民理解を推進し、アイヌ民族の誇りが尊重されるまちづくりの実現を目指すための計画

施策目標1:市民理解の促進

ア 推進施策1:伝統文化の啓発活動の推進

(イ) 今後実施する施策

アイヌアート・モニュメントの設置

市街地の適切な場所にアイヌ民族を象徴するモニュメントを設置

【参考】

○ 札幌市まちづくり戦略ビジョン ビジョン編(案)

基本目標 1 共生と交流により人と人がつながるまちにします

行政の役割のひとつとして、「アイヌ民族の歴史・文化への市民理解の促進」を明記

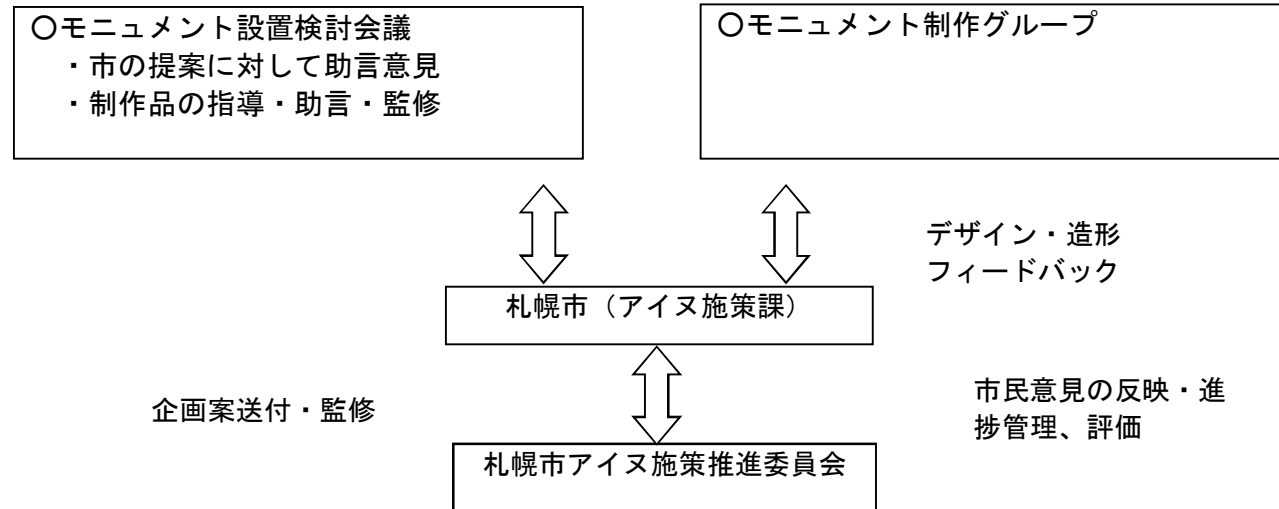
3 検討会議の目的・役割

札幌市がアイヌアートモニュメントを設置するため、専門的な見地から必要な助言を得ることを目的として検討会議を設ける。委員には市の企画提案に対するアドバイザーとして助言や意見を出してもらう。

また、一部の委員には、モニュメントの制作過程で、必要に応じてアドバイスをいただく。

※検討会議設置要綱は資料2のとおり

4 事業の枠組



5 基本コンセプト

- (1) アイヌ民族とアイヌ文化を象徴する記念物を制作・設置
- (2) 多文化共生とアイヌ民族、アイヌ文化に対する市民・来訪者の理解促進
- (3) アイヌ文化に基礎を置きつつも、伝統に限定されないアート表現

6 スケジュール

【平成24年度】

第1回:全体スケジュール、事業概要の説明、コンセプト案の説明等

第2回、第3回:ヒアリング、意見交換等

第4回:制作手法、設置場所の検討・整理、制作グループ編成、監修者の選任等

【平成25年度】

第5回:制作グループが提案するラフデザインに対する意見交換等

第6回:制作グループによる最終デザインに関する意見確認等

7 検討会議における主な検討事項

- (1)基本的なコンセプト(アイヌ伝統文化、アート性、多文化共生、市民理解の促進)について
- (2)設置場所、制作手法について
- (3)その他